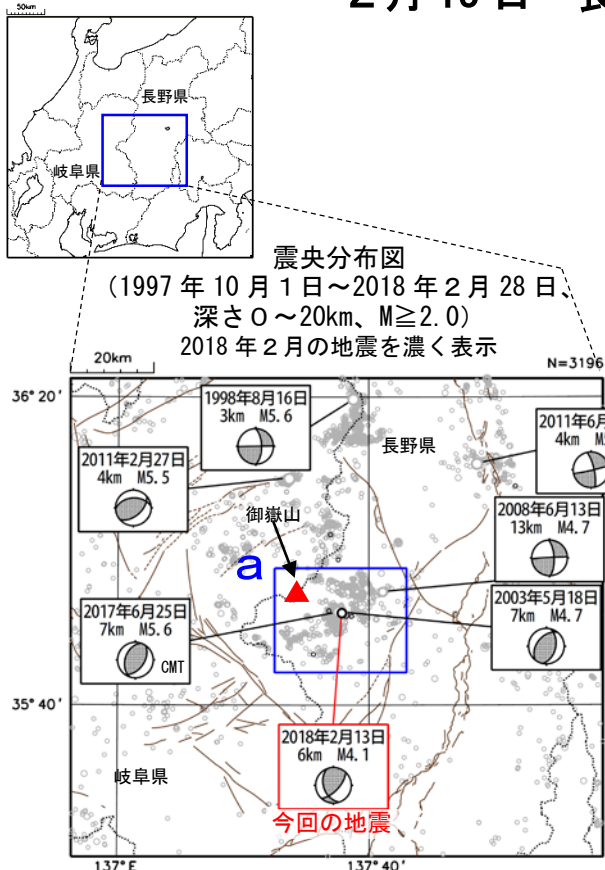


## 2月13日 長野県南部の地震



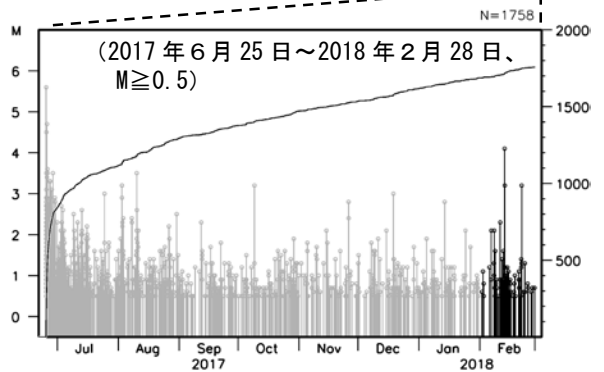
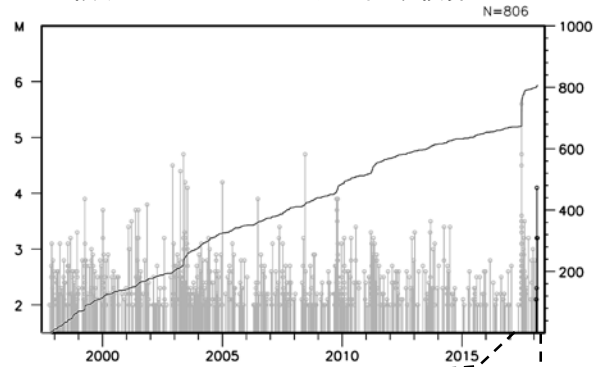
図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

2018年2月13日14時39分に長野県南部の深さ6kmでM4.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

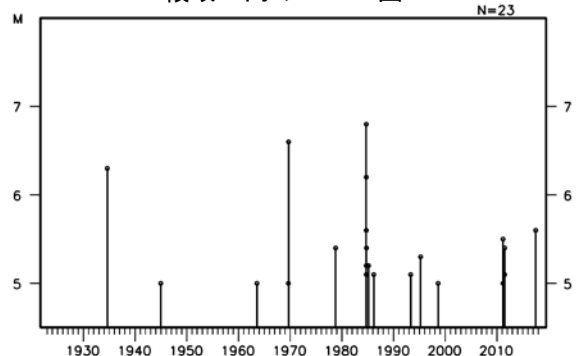
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）は、定常的に地震活動がみられる領域で、今回の地震とほぼ同じ場所で、2017年6月25日にM5.6の地震（最大震度5強）が発生し、軽傷2人等の被害が生じた（総務省消防庁による）。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生しており、M6を超える地震も4回発生している。そのうち1984年9月14日に発生した長野県西部地震により、死者・行方不明者29人等の被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。今回の地震は、長野県西部地震とその後の活動域内で発生している。

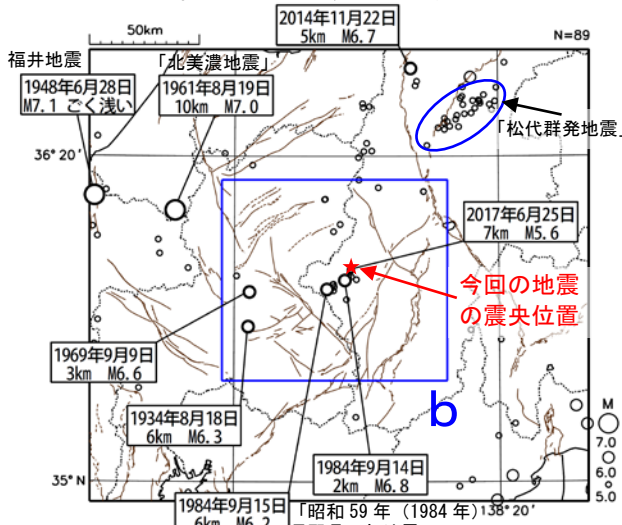
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



震央分布図  
(1923年1月1日～2018年2月28日、  
深さ0～30km、 $M \geq 5.0$ )



「昭和59年（1984年）長野県西部地震」の最大余震